©河北新報社 2010

NIE特集
Newspaper In Education

戸倉小

学校名　宮城県南三陸町立戸倉小学校　　校長　麻生川　敦
所在地　宮城県南三陸町戸倉沖田18　　児童　114人
電話　0226（46）9130

民話と伝説の由来に迫る！

神様が仲裁 争いやむ

知り隊

語り継ぐ大切さ知る

私たち戸倉小6年生は、2学期に「みつめよう　ふるさとの輝き」をテーマに総合的な学習の一環として「民話を聞く会」を開きました。そこでは、「しづがわ民話の会」の方を講師としてお招きし、私たちが住む戸倉・藤浜地区に古くから伝わる民話や神話を聞き、その由来や、昔の人たちの思いや願いについて考えました。

総合学習で、町内の「ふるさと研究会」の会員の人に案内され、神割崎を見学

講師にお招きしたのは、「しづがわ民話の会」の小山三千代さんと三浦とみ子さんです。音楽室を会場にして「神割崎の話」や「怪物ダコの話」、「文覚上人の話」、「轟川の話」の四つのお話をしていただきました。私たちはここで、「神割崎の話」と「文覚上人の話」の二つに焦点を当ててまとめました。

「神割崎の話」は、昔の戸倉村と十三浜村を仲良くさせるために、神様が嵐で打ち上げられたクジラとその後ろにあった岩山を割ったというお話です。「二つの村の争いに神様が仲裁に入って、二つの村では争いやけんかがなくなったんだよ」と聞かせてくださいました。このお話から、私たちは互いに仲良くしなければならないという戒めを知り、神様をありがたく思う昔の人の気持ちを感じました。

「文覚上人の話」は、文覚上人という偉いお坊さんが、一度はお告げのせいで道を踏み外しながらも、その後は人々のために活躍をするお話でした。このお話に出てくる「明神沼」や「下田浜」などの地名は今も残っていて、文覚上人に由来していると言われています。

お話を聞く会の最後に、話をしてくださった小山さんと三浦さんに、私たちは「民話の語り手をしていて、よかったと思うことは何ですか」と質問しました。お2人は「また、お話を聞きたいという声を聞くことです」との答えでした。

◇　◇

地域に古くから伝わっている民話や神話には、どのお話にもとても深い思いが込められています。今回お話を聞いたり、調べたりしたことで、それを実感することができました。

昔の人たちの願いや思いを感じ取ることのできる民話や神話を、これからも後世の人たちにも伝えていくことは、とても大切なことだと思いました。

文・佐々木優衣、後藤安奈、久保田絵美、芳賀麻里奈、元木萌絵（6年）

言い隊

■マスコット配り訴え■

私は4年生の時、総合的な学習の時間に蚕を飼育しました。蚕からとれたまゆを染め、交通安全を願うマスコットを作りドライバーに配りました。

活動を通して感じたのは、私たちの安全を守るために多くの方々が努力してくださっていることでした。マスコット配りの活動中も、交通指導隊の人たちは交通整理をしてくださいました。交通安全の日には、登校の安全を守ってくださいます。皆さんの努力をむだにしないためにも、私たちは交通ルールをよく守り、自分の命を自分で守ることが大切です。

これからも、みんなを守るマスコット配りの活動を続けていきたいと感じました。

（5年・熊谷美里）

■広めたい 紙の資源化■

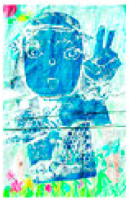
私たちの町では、地球温暖化を防ぐ目的で、紙を資源に変えるエコチャレンジという活動に取り組んでいます。戸倉小でも環境美化委員会が中心になり、教室から出るはがき、封筒、包装紙など再生可能な雑紙を集めています。紙ごみを、可燃ごみではなく資源化すると、1トン当たり1万1千円が町の収入になるそうです。簡単にできるごみ分別で二酸化炭素が削減できるという点でも、すばらしい取り組みではないだろうか。

しかし、普段の生活はどうだろう。平気で紙を捨てていることも多い。このすばらしい取り組みをもっと紹介し、みんなで取り組んでいければと思います。

（5年・須藤未帆、阿部穂菜美）

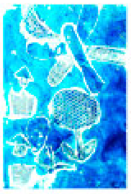
うきうきキャンバス

たまごのねこ　1年・後藤瑠月


しゃしんをとっているわたし　2年・佐藤穂乃香

天空のふじ山　さくら学級・小山優

走る私　6年・芳賀麻里奈


なぞの町　3年・成沢柊真

学習発表会　すみれ学級・小野寺理恵

夢のオンプ島　5年・小野寺みなほ

ごんぎつね　4年・阿部望瑞輝

教え隊　海の授業「マーレ」

沖縄の講師招き学習

沖縄の講師から「マーレ」の授業を受ける（昨年11月25日）

戸倉小では、毎年沖縄からＮＰＯ法人の講師をお招きし、「マーレ（ＭＡＲＥ）」という海についての授業（体験型科学教育カリキュラム）を行っています。

今年は「プランクトン」について学習をしました。プランクトンには動物プランクトンと植物性プランクトンの２種類があることなどを知りました。最後はみんなで、プランクトンに見立てた模型を作り、水に沈む速度の遅さを競うレースをしました。今まで知らなかったことが分かり、とても楽しく学習することができました。

文・三浦辰徳、梶谷翔輝、小山康平、佐々木一磨、阿部湧也（６年）

編集後記

今回の「どきどき小学生」の編集を体験して、今までは知らなかった地元の素晴らしさや自然の豊かさを感じることができました。

「マーレ」の授業では、海の雄大さや生物の生きる力を、自分でプランクトンの模型を作ることによって身をもって学ぶことができました。民話を聞く会でも、古くから伝わる民話や神話のおもむきを感じることができました。

自分たちで調べ、学んだことを、たくさんの方々に伝えられる貴重な体験をすることができて、とても勉強になりました。このことを今後の生活にも生かしていきたいと思います。

△編集委員▽佐々木優衣、後藤安奈、久保田絵美、芳賀麻里奈、元木萌絵、三浦辰徳、梶谷翔輝、小山康平、佐々木一磨、阿部湧也（6年）、熊谷美里、須藤未帆、阿部穂菜美（5年）

題字デザイン　元木萌絵（6年）

△指導教諭▽武山真理、市村俊幸